

令和 7 年度学校業務改善等の取組について

令和 8 年 8 月 2 1 日

1 概要

1－1 目的

1－2 これまでの取組と対応の方向性

2 令和7年度取組について

2－1 令和7年度取組概要

2－2 業務改善等実践校支援

2－3 教員ステージ別研修

2－4 高等学校及び特別支援学校の業務改善ワークショップ

2－5 各実践校の取組まとめ

2－6 実践校の取組の傾向と特徴

1 概要

1 – 1 目的

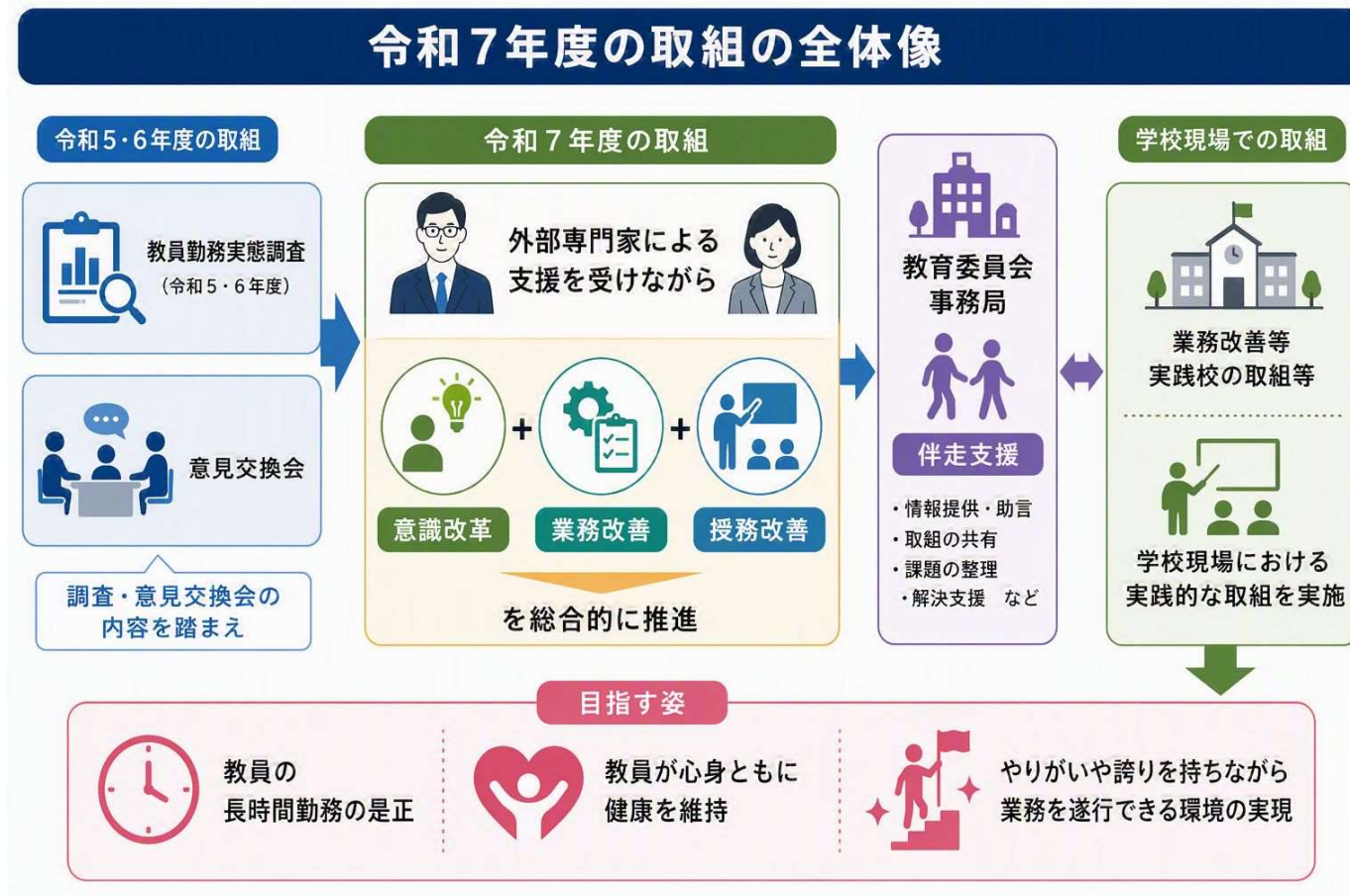
1 – 2 これまでの取組と対応の方向性

1 - 1 目的

■目的

教員の長時間勤務の是正に向けて、令和5、6年度に教員の多忙感と勤務に対する意識調査を実施するとともに、全国の先進的な働き方・仕事の進め方改革の取組事例等を参考にしながら、本市の特性等を踏まえて、多岐にわたる課題や解決方策等に関する意見交換会を開催してきました。

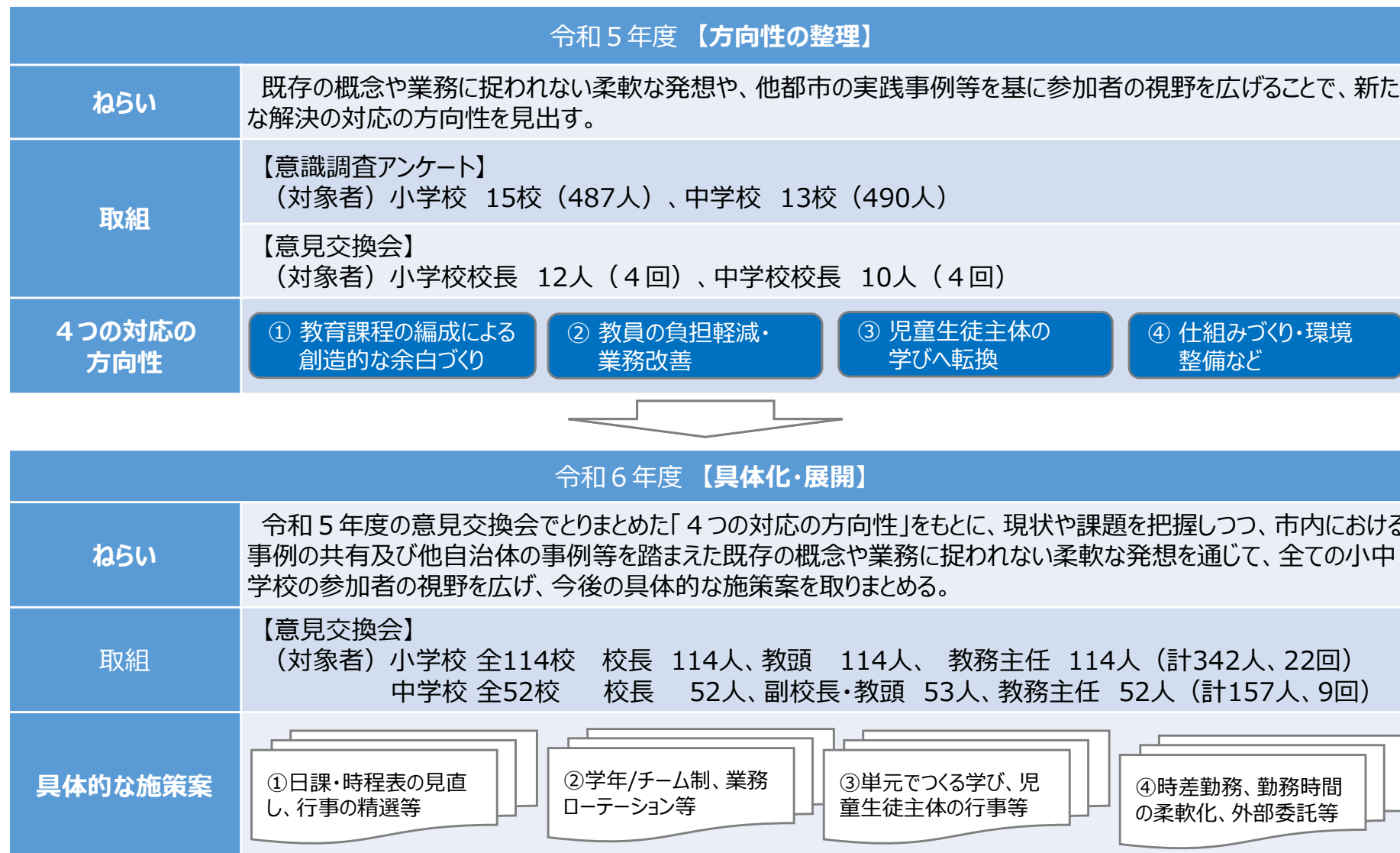
令和7年度は、それらの取組結果や方向性を踏まえて、教育委員会事務局が伴走支援を行いながら、学校現場における実践的な取組を推進するために、外部専門家による支援を受けながら、意識醸成や業務改善、授業改善を総合的に推進する業務改善等実践校の取組等を進めるなど、教員が心身ともに健康を維持し、やりがいや誇りを持ちながら業務を遂行できるような具体的取組を市内展開することを目的とします。



1 - 2 これまでの取組と対応の方向性

■ 令和5年度及び令和6年度の取組

- 令和5年度には、意識調査アンケート及び小中学校の校長による意見交換会を踏まえて、4つの対応の方向性を取りまとめました。
- 令和6年度は、市立小学校及び中学校の全ての校長、副校長・教頭、教務主任（計499人）に対して、校種別、地区別に意見交換会を開催し、4つの対応の方向性をもとに、様々な具体的な施策案を導出しました。



2

令和7年度の取組について

- 2－1 令和7年度の取組概要
- 2－2 業務改善等実践校支援
- 2－3 教員ステージ別研修
- 2－4 高等学校及び特別支援学校の業務改善
ワークショップ
- 2－5 各実践校の取組まとめ
- 2－6 実践校の取組の傾向と特徴

2－1 令和7年度の取組概要

■市内展開のための主な取組

- ・令和5、6年度の勤務実態調査を踏まえた取組の方向性を踏まえて、小中学校に対しては、学校現場での実践の展開を目指します。
- ・教員のステージ別研修において、業務改善等の考え方や事例紹介を行うことにより、意識醸成の裾野を広げます。
- ・高等学校及び特別支援学校は、各校の特色に合わせた学校別業務改善ワークショップを開催します。

項番	実施内容	実施内容
1	業務改善等実践校への支援	・市立小中学校23校の実践校に対して、業務改善・授業改善の両面で校内研修、適宜オンライン等でのフォローアップを実施 ・学校の実情やリクエストに応じて年間3回程度60～90分の校内研修ワークショップを実施し、その後の校内での主体的な改善活動を促進 ・各実践校同士を繋ぐオンライン交流会を開催し、管理職や校内推進者同士の励まし合い、高め合いを醸成 ・実践校報告会を開催し、実践校以外の学校へ実践を共有
2	教員ステージ別研修	・主催者と協議の上で各10ステージの対象者に対して、対面・オンラインで60～90分程度の研修を実施 ・必要に応じて他都市で先進的な取り組みをしている学校からゲスト講師を招聘して実施 ・川崎市の取組を共通のインプットとし、10ステージの対象者を4つの区分にて、新任管理職向け⇒チームマネジメント、管理職向け⇒教育観の転換、ミドルリーダー向け⇒4つの対応の方向性、若手向け⇒個人のタイムデザインワークを実施
3	高等学校及び特別支援学校の業務改善ワークショップ	・市立高等学校及び特別支援学校向けに全9回、業務改善・授業改善の両面で校内研修、適宜オンライン等でのフォローアップを実施 ・学校の実情やリクエストに応じて年間1～2回程度60～90分の校内研修ワークショップを実施し、その後の校内での主体的な改善活動を促進

2－2 業務改善等実践校支援

■業務改善等実践校支援について

- 市立小中学校の中で、業務改善及び授業改善の支援を希望する学校を「業務改善等実践校」とし、外部コンサルタントの支援を含め、教育委員会事務局が伴走支援しました。
- 小学校 18校、中学校 5校の計 23校の実践校に対して、学校の実情やリクエストに応じて、業務改善・授業改善の両面から学校別ワークショップを3回程度実施し、その後のフォローアップにより校内での主体的な改善活動を促進しました。
- 実践校同士を繋ぐオンライン交流会を開催し、管理職や校内推進者同士の励まし合い、高め合いを醸成しました。
- 実践校オンライン報告会を開催し、実践校以外の市立学校に対しても実践状況、効果及び課題を共有しました。

■業務改善等実践校一覧

No	行政区	校種	学校名
1	川崎	小学校	渡田小学校
2	川崎	小学校	向小学校
3	川崎	小学校	川崎小学校
4	幸	小学校	東小倉小学校
5	中原	小学校	下河原小学校
6	中原	小学校	下沼部小学校
7	中原	小学校	今井小学校
8	中原	小学校	上丸子小学校
9	中原	小学校	中原小学校
10	中原	小学校	宮内小学校
11	高津	小学校	西梶ヶ谷小学校
12	宮前	小学校	西野川小学校

No	行政区	校種	学校名
13	多摩	小学校	三田小学校
14	多摩	小学校	生田小学校
15	麻生	小学校	長沢小学校
16	麻生	小学校	王禅寺中央小学校
17	麻生	小学校	片平小学校
18	麻生	小学校	栗木台小学校
19	幸	中学校	塚越中学校
20	中原	中学校	今井中学校
21	高津	中学校	東高津中学校
22	多摩	中学校	南菅中学校
23	麻生	中学校	はるひ野中学校

2-2 業務改善等実践校支援

■ 実践校への支援 -業務改善と授業改善の両輪のアプローチによる校内ワークショップ-

- 各学校の実情やリクエストに応じて業務改善及び授業改善のワークショップを2～3回程度実施し、その後の校内での主体的な改善活動を促進しました。

業務改善ワークショップ

- 学校裁量で可能な業務改善のアイデアをテーマごとに検討するワークショップを実施
- テーマ別グループに分かれて、業務に対する価値と課題洗い出し、お勧め取組をプレゼンする
- ワークショップ後に実践できる取組を学校主体で選定し、できるものから試行実施を進め、余白づくりを目指す



①【現在の手段】「この手段は、だれにとってどんな価値がある？」
・本題で言えたら、この手段の「課題」はなんですか？

②【手段の提案】

③【新たな手段】「ある（子役/保護者/職員）にとって、価値ある手段になっていますか？」

④【実行計画表】「担当者の負担が軽減されていますか？」

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日				
外周に共有する日				
実践する日				
評価する日				

⑤【メンバー】

高田 達男
吉田 尚厚
山本 神

Project

授業改善ワークショップ

- 学校業務の大半を占める授業について、個人・チームで教育観を見直し、単元づくりを行うワークショップを実施
- 業務改善で生み出した余白を、授業改善（教育改善）につなげ、業務改善と授業改善を同時に促進



学びの転換WS（初級編）「学びの手引きづくり」（90min）

Step① インプットタイム（30min）

Step② 対話の時間（10min）
▶ペアで話そう ▶あなたの本意は？ ▶子どもたちにとっての価値とは？

Step③ 単元のゴールを決めよう（10min）

教科	単元名	期数
国	分岐点：伊弉諾	6

単元の目標 単元で何を「能力」？ 単元で何を「知識・技能」？

単元のゴール 単元ゴールのゴール（ゴール）を具体的にイメージして

単元のゴールのルーブリック

Step④ 単元のガイダンスをデザインしよう

Step⑤ 学習環境をデザインしよう

2-2 業務改善等実践校支援

■ 実践校への支援 -実践校交流会・実践校報告会-

- 年度途中で各実施校での実践交流の場を設定して協働と実践を促進し、年度末にはオンラインで実践校報告会を開催することで、実施校以外にも取組内容、状況、効果及び課題を共有しました。

オンライン交流会(10月)

時間 (目安)	実施内容等
15:30-15:32	冒頭のご挨拶 (川崎市教委より)
15:32-15:40	チェックイン+インプット
15:40-15:50	各校の取り組み状況の共有 ※同時編集可能なスプレッドシートに入力 (当日に入力) ・動かしていること/検討中 ★実現したこと ◎実現したいこと などを入力
15:50-16:10	小グループでの実践交流 ※校種別で4-5名程度の小グループを想定
16:10-16:25	実践交流を踏まえた今後のアクション検討
16:25-16:30	チェックアウトと事務連絡等
(16:30-17:00)	個別の相談などある方のみ残ってフリートーク

オンライン報告会(2月)

【小学校】 2月10日(火) 2月16日(月)	【中学校】 2月13日(金)	実施内容等
14:00~14:10	15:00~15:10	入室、報告会の流れの説明など (2/16のみブレイクアウトルームのオープン・移動)
14:10~14:52	15:10~15:45	実践校発表 (詳細は (4)タイムスケジュール参照) ※1校当たり発表5分+質疑応答2分程度
14:55~15:05	15:50~16:00	全体まとめ・講評 (コンサルタントより)

下河原小学校 (実践発表)

今年度の取り組み内容は？

業務改善	授業改善 (教育改善)
ペーパーレス (職員会議等)	研究授業の指導案の簡略化
空き時間の確保 (専科教員の配置)	研究を児童に実態に合わせる
ボランティアの活用 (地域、保護者)	行事の取り組み方
職員室をより快適に (整理整頓)	人的支援 (サポーター等)
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
留守電を勤務時間に合わせる	教職員が時間外に対応していることを柔らかく伝えていく

次年度に向けて取り組むことは？ (具体的な取り組み、仕組みづくりなど)

宿題のあり方について

時程の見直し

下河原小学校 (参考情報) ※時程や単元マップ等の資料や写真など



学校名	・動かしていること/検討中など、★実現したこと、◎実現したいこと 1回目 本日よりの内容 (10/16・10/27・10/28)	・動かしていること/検討中など、★実現したこと、◎実現したいこと 2回目12月1日までの内容
例) 幸せ東校	・動かしていること/検討中など、★実現したこと、◎実現したいこと ・職員会議や部会などのペーパーレス化、運営費削減 ・研修日を週1日設定し、短縮特別時にし、下校を40分前倒しにする曜日をつくる ★19:00に退勤時間の設定 (管理職主導) ★先生方から引き出したアイデアを整理した ▲推進チームと、それ以外の教員との協働度合いをどうすればいいのかわかりたい。 ◎ペーパーレス化を進めつつ、職員会議を二か月に1回にする。	★11/24~12/24の1ヶ月間「業務改善試行期間」の実施 ①時程の見直しにより、放課後の時間を確保 ②できた時間を活用し、「宿題」「授業改善」に取り組む ★放課後の時間を作り出したことにより、各教職員が自身で使える時間ができた。 ★授業改善プロジェクトとして、授業についての研修時間をもつことができたので、教職員の共通理解を深めながら、教材研究を進めていくことができた。 ★宿題について、低中高の発達段階に応じた形式を検討し、より実態に合った形での家庭学習を行うことができた。 ★結果としては、時程が固定化されたり、休み時間が確保されたりしたことで、安定した気持で授業に臨むことができていたように思う。 ◎試行期間の取組について、児童・保護者・教職員へのアンケートをもとに、再検討を行い、本校に合った形を考え、次年度の実施につなげていきたい。
8 上丸小	★日直の巡回の簡素化 ★保護者連絡のオンライン化 ★打合せの一元化 ★Googleサイトの活用 ★試行期間の実施 (11/24~12/24) ・日直時程 ・宿題家庭学習 ・授業改善	- の3チームに分かれて、実施内容の検討 ◎時程の改善 ◎会議の時間短縮 (提案のフローチャート作成) ◎留守番電話を17時から ◎授業内容を共有する仕組み ◎保護者ボランティアの活用

Googleスプレッドシートで各校の取り組み状況を共有

◎ : 実現したこと

○ : 動かしている/検討していること

▲ : 困っている/相談したいこと

⇒実施校同士で励まし合い高め合いを促進

2－3 教員ステージ別研修

■ 業務改善に対する意識醸成の裾野を広げるステージ別研修

- 教員のステージ別研修において、各ステージに沿ったテーマごとに対面又はオンラインでの研修を実施しました。
- 令和6年度の意見交換会で導出された「4つの対応の方向性」を軸に川崎市の取組を共有した上で、主にワークショップ内での参加者同士の協働による、各校の実践取組の共有を行いました。
- 校長・教頭・教務主任の対象者に対しては、前年度に業務改善等における意見交換会を経験している職員が多いことを踏まえ、チームビルディングや教育観の転換をテーマとしたワークを実施しました。
- ミドルリーダー層（中堅教諭・15年経験者・新任教務主任・新任総括教諭）に対しては、「4つの対応の方向性」を軸に、業務改善に関するアイデア創出のワークショップを実施しました。
- 若手教員（3年目・2校目）に対しては、タイムマネジメント研修を実施しました。

No	内容	実施日	対象者数	形式	内容
1	新任教頭研修	7月9日	50	対面	チームビルディング
2	新任校長研修	7月28日	30	対面	チームビルディング
3	3年目教諭研修	7月28日	303	オンライン	タイムマネジメント
4	中堅教諭等研修	8月4日	224	対面	4つの対応の方向性
5	15年経験者研修	8月7日	180	オンライン	4つの対応の方向性
6	校長研修	8月28日	175	対面	教育観の転換
7	新任教務主任研修	9月5日	40	オンライン	4つの対応の方向性
8	教頭研修	11月17日	180	対面	教育観の転換
9	新任総括教諭研修	12月19日	106	対面	4つの対応の方向性
10	2校目研修	2月9日	220	オンライン	タイムマネジメント



2－4 高等学校及び特別支援学校の業務改善ワークショップ

■ 各校の特色に合わせた学校別業務改善ワークショップ

- 高等学校及び特別支援学校では、各校の特色があるため、各校のリクエストや課題について事前に打合せを行い、業務改善に対する意識改革や事例紹介を行いながら、学校単位のワークショップを開催しました。

No	内容	実施日	内容
1	田島支援学校	8月25日	①業務改善テーマ出し&方向性検討
2	中央特別支援学校	8月27日	③個人タイムマネジメント
3	高津高等学校（全日制）	8月27日	①業務改善テーマ出し&方向性検討
4	幸高校	9月2日	②業務改善テーマ別の方向性検討
5	橘高等学校（定時制）	9月11日	①業務改善テーマ出し&方向性検討
6	聾学校	9月18日	②業務改善テーマ別の方向性検討
7	川崎高校	11月13日	①業務改善テーマ出し&方向性検討
8	橘高等学校（全日制）	11月18日	③個人タイムマネジメント
9	高津高等学校（定時制）	1月7日	③個人タイムマネジメント



2-5 各実践校の取組まとめ

- 23校の実践校にて、業務改善及び授業改善における複数の取組が実施されました。
- 件数としては、合計約260件以上（学校平均約11件以上）の取組が実施されました。

※校内研修パターン

- ①業務改善テーマ出しワークショップ&方向性検討
- ②業務改善テーマ別の方向性検討
- ③個人タイムマネジメント
- ④授業改善 単元づくりワークショップ

■小学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
1	川崎	渡田 小学校	6/20校内研修パターン② 7/22校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・金曜日 5校時授業 ・全て資料をデータ化 ・渡田小職員サイトでデータの集約 ・門、電話時間17時まで 放課後telは基本× ・学年だより→学校だより集約	・学年内の教科担任制（高学年） ・交換授業（低学年） ・時間数を考えた単元計画 ・国語テスト購入なし	・分かりやすい授業時間 ・暑さ対策のカリキュラム ・長期休みの宿題削減 ・面談期間の全校統一時間
2	川崎	向 小学校	9/1校内研修パターン②③ 12/24校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・ペーパーレス化 ・ポータルサイトの利用（資料の集約） ・会議時間45分 ・学校だよりと学年だよりの統合	・学年のつながりを意識した教材研究 ・単元で考えていくこと	・学年担任制・交換授業の充実 ・柔軟な教育課程の編成
3	川崎	川崎 小学校	7/17校内研修パターン① 11/26校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・学校評価アンケート項目の再構成 ・帰りの支度・会を含めた下校時間 ・放課後の忘れ物対応→なし ・希望制個人面談を教育相談週間に ・打合せと会議がある日は、書面打合せに ・学年だよりを学校だより統合	・各学年に級外職員 1 名をサポート配置 ・校内研究の指導案 単元計画等を一枚に ・交換授業	・宿題のあり方 ・うわばき毎週金曜日持ち帰りを廃止 ・保護者向け配布物のルビを廃止
4	幸	東小倉 小学校	7/22校内研修パターン① ※訪問回数：1回	・会議の精選と資料のDX化 & 事前共有 ・施設予約・備品予約の管理：りざぶ郎 ・遅刻・欠席・未連絡：チャットスペースでの共有 ・学年だよりの廃止→学校だより裏面に統一 ・成績処理期間時程の設定 ・個別面談③における休憩時間の確保 ・各種説明会のYouTube配信 ・日直当番業務の軽減 ・各種調査のオンライン化：LoGoフォーム等 ・No残業Dayの徹底 ・学校評価保護者アンケートの精選	・運動会の学年入れ替え制とYouTubeライブ配信 ・各教科の備品管理：チャットスペースでの共有 ・給食・清掃の入替、級外の入り込み ・校外授業研参加後のフィードバック ・交換授業（低学年も）	・AIの活用

2-5 各実践校の取組まとめ

■小学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
5	中原	下河原 小学校	7/8校内研修パターン① 8/27校内研修パターン② ※訪問回数：2回	・ペーパーレス（職員会議等） ・空き時間の確保（専科教員の配置） ・ボランティアの活用（地域、保護者） ・職員室をより快適に（整理整頓）	・研究授業の指導案の簡略化 ・研究を児童に実態に合わせる ・行事の取り組み方 ・人的支援（サポーター等）	・宿題のあり方について ・時程の見直し ・行事の精選、実施方法 ・時差勤務
6	中原	下沼部 小学校	7/23校内研修パターン① 11/14校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・時程の変更（月6をカット、金を短縮時程に） ・学年だよりを学校だよりに統合 ・各種会議の議事録や資料のDX化 ・余剰時間の削減 ・保健室に毎朝提出する健康観察ファイルの廃止	・専科制・交換授業の積極導入	・ポータルサイトの全面運用（各種データを一本化） ・夏休みの宿題のあり方について検討 ・職員研修の時期や回数、実施方法の検討 ・授業時数以外の時間の捻出方法について検討
7	中原	今井 小学校	7/22校内研修パターン① 10/16校内研修パターン④ 2/17校内研修パターン② ※訪問回数：3回	・日直の見回り範囲の縮小 ・会議終わりの時間を明確にし（休憩時間の確保） ・学年だよりを学校だよりに統合	・夏休みの宿題の出し方の見直し ・校内研究では毎回フォームに振り返りを個人で入力	・時程の見直し（15分繰り上げる） ・低学年の余剰時間（ゆとりがあるので削減） ・12月希望制個別面談（あり方について再考）
8	中原	上丸子 小学校	6/25校内研修パターン④ 7/17校内研修パターン① 8/29校内研修パターン② 11/15指導案検討会 1/23業務改善研修会 ※訪問回数：5回	・職員室サイトの活用 ・業務改善プロジェクトチーム	・「授業改善P」を中心に職員研修を行い、授業づくりについての共通理解を進める ・「学びの手引づくり」研修で行う（単元計画を立てて取り組む先生が増加） ・授業参観後に業務改善研修会を行い、自分たちの行った手立てについて分析する時間を設ける	・プロジェクトチームの継続→既存の校務分掌への接続 ・時程の見直しと4月からの実施 →試行期間に行った時程をベースに、児童・教職員のアンケートを踏まえて改善したものを実施していきたい

2-5 各実践校の取組まとめ

■小学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
9	中原	中原 小学校	7/22校内研修パターン① 12/22校内研修パターン③ ※訪問回数：2回	・通年の水曜日短縮授業の実施 ・行事予定の掲載を学校だよりに一本化 ・打合せを隔週に ・ロゴフォームの活用して面談の集約 ・成績処理週間を2週間確保 ・宿泊行事前日の午後授業カット ・時差勤務	・交換授業や専科制の推進 ・余剰時間やモジュールの再検討 ・校内研究指導案、紀要の簡略化 ・校内自主研修（国語、図工など）	・学習発表会から児童の発表の場の充実へ ・各種作品展の見直し ・暑さを考慮したクラブ活動実施日の設定 ・夏休みの宿題を自主的な取り組みに
10	中原	宮内 小学校	8/25校内研修パターン④ 10/7校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・毎週行っていた打合せを隔週に ・会議の資料や指導案を事前共有 ・学年だよりと学校だよりの統合・印刷なし ・学校からのお知らせのペーパーレス化 ・4月の6校時カット	・単元のまとまりで授業を計画する ・交換授業	・月曜日の6校時カット ・AIの活用 ・夏休みの宿題、作品展の見直し ・学校サイトの構築
11	高津	西梶ヶ谷 小学校	5/16校内研修パターン① 7/22校内研修パターン④ 1/30校内研修パターン② ※訪問回数：3回	・年度初めは6時間授業をカット ・日直業務やワックスを簡略化し用務員と連携 ・電話対応の時間を8:20～16:50までとした	・教員同士で得意分野を公開し、教材研究や児童指導について、困ったときに誰に聞けばいいか窓口的な一覧を作成する	・4年生以上は紙のテストは廃止し、ドリルパークで対応する。 ・打合せ、職員会議のスリム化 ・生成AIの活用
12	宮前	西野川 小学校	8/29校内研修パターン④ ※訪問回数：1回	・学校学年だよりを統合 ・手紙類は配信、チラシはチラシコーナーへ ・年度初め、成績処理期間6時間目カット ・時差勤務、勤務の割り振り ・会議はすべてDX化 ・打合せ事前打ち込み ・モジュール週4（13:20～13:35）水曜は短縮時程	・単元づくり研修会 教師主導から子ども主体へ ・初任研や実習生の示範授業共有、ちょこっと見の推進校内研指導案の簡略化 指導案検討⇒お悩み相談会 ・交換授業、合同授業の推進 専科の拡充 ・職員クラスルームに、学び箱を作成 ・それぞれが研修を受けてきた資料や情報の共有 ・学校運営協議会から地域教材、地域講師を広げる	・完全下校時刻の繰り上げ ・単元で授業づくり 子どもが主体の授業づくり ・積極的6時間目カット 余剰を5以下に ・子どもが自ら動き出す魅力的な課題づくり

2 - 5 各実践校の取組まとめ

■小学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
13	多摩	三田 小学校	6/30現地での打合せ 8/26校内研修パターン① ※訪問回数：2回	・三田サイトの立ち上げ ・時差勤務の活用 ・校務分掌の見直し ・会議の持ち方の見直し	・GIGA端末を活用し、長期休業のドリル購入を廃止 ・教育課程（週のコマ数）の見直し	・校務分掌とそれに伴う会議の持ち方を見直すことで、放課後の自分の時間を多く捻出 ・業者テストの利用についての見直し、GIGAを活用した児童の学習状況の見取り（評価）の工夫をさらに考えいく
14	多摩	生田 小学校	7/23校内研修パターン① 11/11校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・高学年チーム担任制（ウェルビーイング） ・学期末事務処理期間の実施 ・学年だよりを含む学年だより ・会議の最終時刻の徹底 ・時差出勤と勤務時間の割り振り変更	・交換授業（教材研究の充実） ・単元でつくる授業づくり ・校内研究の見直し ・授業研究と職員研修の融	・水泳学習の外部施設での実施 ・個人面談の適切な時期の実施
15	麻生	長沢 小学校	7/4校内研修パターン④ 8/28校内研修パターン④ 2/12研究授業振り返り ※訪問回数：3回	・専科等の配置による空き時間の確保 ・交換授業の充実（英語・体育・家庭科・図工・国語小単元等） ・GIGAの活用 連絡・共有 ・お便りのメール配信 ・17時～留守番電話	・校内研究の実施方法の改善 ・各自の授業力についての課題をもとに、研究グループを設定 ・外部講師を招いての講義及び研修 ・グループで互いの授業を見合い、振り返りを継続する。校内授業研究会に向けた授業づくりも含む ・校内授業研究会（講師を招いて） 12・1・2月（各回グループから3人提案）	・検討中

2-5 各実践校の取組まとめ

■小学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
16	麻生	王禅寺中央 小学校	7/24校内研修パターン① 8/26校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・GIGA端末を活用した会議の精選 ・教務・庶務・経理事務の整理 ・精査留守電設定時間改定 →留守電30分繰上げ ・学校業務改善等支援実践校の共通理解 ・通年の水曜日短縮授業の実施 ・行事予定の掲載を学校だよりに一本化 ・打合せを隔週に ・ロゴフォームの活用して面談の集約 ・成績処理週間を2週間確保 ・宿泊行事前日の午後授業カット ・時差勤務	・全学年で交換授業の推進 ・OJTの充実（授業力向上と単元を見通した教材研究） ・職員会議、打合せでの提案・検討時間の整理 ・清掃指導と時間の見直し→机・椅子移動なし、5分間短縮（10分間指導）、特別教室は適宜実施 ・交換授業や専科制の推進 ・余剰時間やモジュールの再検討 ・校内研究指導案、紀要の簡略化 ・校内自主研修（国語、図工など）	・学習発表会から児童の発表の場の充実へ ・各種作品展の見直し ・暑さを考慮したクラブ活動実施日の設定 ・夏休みの宿題を自主的な取り組みに
17	麻生	片平 小学校	11/7校内研修パターン① 12/23校内研修パターン④ 1/22校内研修パターン③ ※訪問回数：3回	・専科・非常勤の活用 時数・教科数削減 ・教育課程の改善 余剰時数削減 ・日課表の変更 下校時刻15分繰り上げ ・GIGA端末の活用 情報の集約合理化 ・時差勤務	・全学年で交換授業 ・単元を見通しての教材研究 ・R8・9算数科研究推進校応募	・職員会の改善 検討が必要な案件のみ提案 ・外線電話17:30→17:00 ・勤務時間の選択制 フルタイム職員のみ ・余剰時数削減 ・専科教員も輪番で給食指導 ・教材研究日の設定 1回/月
18	麻生	栗木台 小学校	7/15校内研修パターン① 8/22校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・職員会議の議題精選（6,9,11,3月カット） ・打合せの時間や回数の短縮（対面：書面＝1：3） ・電話対応8:15～17:00 ・平日日直廃止	・交換授業や合同授業、ローテーション授業の推進 ・児童主体の学びの転換	・週案ペーパーレス ・学習計画表の作成と蓄積 ・校内研究指導案簡略化 ・テストや宿題の見直し

2-5 各実践校の取組まとめ

■ 中学校の取組一覧

行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
19	幸 塚越 中学校	9/1校内研修パターン② 9/22校内研修パターン④ 11/11校内研修パターン③ ※訪問回数：3回	・生徒、教員の清掃廃止 ・ペーパーレス化（令和4年より）→ミマ ・モルメ・logoフォームの活用 ・徴収金年2回（令和5年より4・5月のみ） →遠足代や卒業アルバムなどは業者が直接徴収（学校では集金しない） ・ノー残業デー（令和6年より） ・チーム担任制 ・職員打合せ廃止 ・面談回数削減 ・部活動改革 ・生徒手帳カード化 ・制服に関するルールの柔軟化 ・生徒手帳カード化 ・ワックスがけをPTAに依頼 ・日直廃止 ・新入生物品販売をネットへ移行	・GIGAを使った帰り学活（5分以内で終了） ・主任会を工夫して時間短縮。短縮された時間で業務改善等、学校全体に関わることの話し合い ・技能教科のテストは単元テスト ・ノーチャイム ・モジュールタイム創設 ・テストの回数削減 ・3年生の7月成績処理の廃止 ・時程改編 →下校時刻を17:15に繰り上げ →朝練実施部活の下校は16:45 →月曜日は4時間授業 ・体育祭午前開催、種目精選 ・文化祭午前開催、出演団体精選 ・合唱コンクール自由曲のみ学年合唱あり ・年間通して基本的にはテレビ朝会にする ・各種説明会のyoutube化 ・教育相談の改善	・スクラップ&ビルドの徹底。継続的に改善に取り組む。（市教委の協力が必要なものを願います。）
20	中原 今井 中学校	7/23校内研修パターン① 12/12校内研修パターン② ※訪問回数：2回	・企画委員会の廃止 ・職員会議資料のペーパーレス化 ・部活動数の削減 ・最終下校時刻の改善（早めた） ・勤務時間割り振り/時差勤務の大幅導入	・ローテーション道德の導入 ・教科による定期テスト実施の有無 ・単元ごとの評価の定着・推進（令和4年度から実施） ・朝活動（朝読書）の授業時数へのカウント	・行事の精選（特に体育祭の種目数） ・校務の生成AIの導入（プロンプト作成）

2-5 各実践校の取組まとめ

■ 中学校の取組一覧

	行政区	学校名	主な支援内容	今年度の主な実践 (業務改善)	今年度の主な実践 (授業改善・教育改善)	次年度取組予定
21	高津	東高津 中学校	7/22校内研修パターン② 11/17校内研修パターン④ ※訪問回数：2回	・時程の刷新（ユニット制導入） ・放課後のデザイン変更（夏でも17：15下校） 水曜のみ清掃あり、生徒会議を実施 ・ポリッシャー作業の削減・時期変更 ・企画委員会を主任会へ。他会議のやり方も見直し。 ・学級懇談会回数削減（年2→1）、生徒手帳カード化 ・日案をデジタル化、黒板月予定は紙で貼付 ・情報共有サイトへの一元化（時間割変更、会議資料、行事・年間反省、動静表など） ・鍵・棚・倉庫など配置や表示を工夫し時短実現	・モジュール授業の実施 ・学活、総合の名称を東タイムとし垣根をなくす ・生徒主体の授業への移行 ①授業改善研修実施 → ②授業視察 → ③校内研修実施 ⇒生徒に主体の授業実現へ(教員が見取る時間増加) ・道徳ローテーション ・テスト削減 （技能教科を中心に回数を減らし、授業時数を確保） ・学習支援を放課後からモジュール授業内へ移行 ・朝学活は教員なしでも生徒主体で進行・スケジュール確認	・体育祭、PTA歓送迎会など平日開催へ ・ユニット制にフィットする時程へ変更 ・学年担任制の推進/担任業務をできる限り学年全員で分担（協議中） ・情報共有サイトのさらなる進化 ・電話対応時間の短縮 朝8:00から、夕方部活終了30分後まで
22	多摩	南菅 中学校	7/15校内研修パターン② 12/19校内研修パターン② ※訪問回数：2回	・最終下校時間統一 前期 17：45 後期 17：00 ・前期通知表の所見欄廃止 ・ペーパーレス化、職員会議の資料をGIGA活用 ・お祭り等のパトロール廃止 ・各フロアに掃除機を導入	・朝学習時間を設置（朝の連絡関係をGIGA活用） ・帰り学活廃止、昼清掃（昼学活）の実施 ・体育祭を平日開催 ・家庭訪問ではなく地域巡回 ・教科によらず入り込み支援	・生徒手帳のカード化⇒冊子式手帳内容の作成業務の廃止 ・午前中授業の廃止⇒給食実施日の増に伴い、定期試験期間や面談期間等の見直し
23	麻生	はるひ野 中学校	8/21校内研修パターン① 9/16校内研修パターン② ※訪問回数：2回	・学期末三者面談の希望制にする。 ・生徒手帳をカードにして業者に委託する。 ・道徳のローテーション化 ・技能教科の定期テスト廃止 ・朝学活のモジュール学習化	・職員会議資料はGIGA端末に掲載 ・朝の打合せは週2回 ・清掃は週2回実施	・最終下校時刻の短縮（放課後の部活動短縮⇒最長でも17：30程度に収めたい） ・家庭訪問を地域巡回として1日で実施

2－6 実践校の取組の傾向と特徴

■実践校の取組傾向と特徴の考察（小学校）

- 「a 時程（モジュール・最終下校時間等）」の見直し、「k 業務効率化（会議の精選・実施方法見直し等）」については、全18校で取り組んでおり、取組数も多く見られます。
- 「d 授業改善（児童生徒主体の学びへの転換等）」は18校中、15校で取り組んでおり、業務改善と授業改善の両輪で進めている傾向にあります。

分類	実践した 学校数	実践した 取組数
a 時程(モジュール・ユニット活用、 最終下校時間、チャイム回数等 見直しなど)	18	34
b 曜日集約(会議・生徒会議実施日、 ノー部活動デー集約など)	3	3
c チーム担任制→ローテーション制 導入(道徳、総合、給食など)含む	8	10
d 授業改善(児童生徒主体の学びへ の転換、授業方法の見直し、評価 材料見直しなど)	15	25
e テスト改革(テスト回数見直し・削減、 定期テスト廃止など)	3	4
f 宿題の見直し(回数削減、実施方 法見直し、廃止など)	9	9

分類	実践した 学校数	実践した 取組数
g 清掃・給食への取組	3	3
h 行事・集会の実施方法見直し (精選、子どもに決定権を委ねる)	7	10
i 三者面談、懇談会、授業参観、 学校公開日、説明会(実施回数、 方法の見直し)	8	9
j 校内研(OJT)、職員研修(実施 方法の見直し、工夫)	12	14
k 業務効率化(会議の精選・実施方 法見直し、校務分掌（組織図）の 見直し、情報共有サイト活用、 事務支援員連携・活用、他)	18	45
l その他余白づくりの仕組(電話対応 時間、長期休業中出勤日見直し、 生徒持ち物連絡廃止、職員室の 環境整備など)	18	28

2－6 実践校の取組の傾向と特徴

■実践校の取組傾向と特徴の考察（中学校）

- 「a 時程（モジュール・最終下校時間等）」の見直し、「k 業務効率化（会議の精選・実施方法見直し等）」については、全5校で取り組んでおり、取組数も多く見られます。
- 「d 授業改善（児童生徒主体の学びへの転換等）」も全5校で取り組んでおり、業務改善と授業改善の両輪で進めている傾向にあります。

分類	実践した 学校数	実践した 取組数
a 時程(モジュール・ユニット活用、 最終下校時間、チャイム回数等 見直しなど)	5	12
b 曜日集約(会議・生徒会議実施日、 ノー部活動デー集約など)	3	4
c チーム担任制→ローテーション制 導入(道徳、総合、給食など)含む	4	5
d 授業改善(児童生徒主体の学びへ の転換、授業方法の見直し、評価 材料見直しなど)	5	10
e テスト改革(テスト回数見直し・削減、 定期テスト廃止など)	4	5
f 宿題の見直し(回数削減、実施方 法見直し、廃止など)	0	0

分類	実践した 学校数	実践した 取組数
g 清掃・給食への取組	4	4
h 行事・集会の実施方法見直し (精選、子どもに決定権を委ねる)	4	4
i 三者面談、懇談会、授業参観、 学校公開日、説明会(実施回数、 方法の見直し)	4	7
j 校内研(OJT)、職員研修(実施 方法の見直し、工夫)	1	3
k 業務効率化(会議の精選・実施方 法見直し、校務分掌（組織図）の 見直し、情報共有サイト活用、 事務支援員連携・活用、他)	5	12
l その他余白づくりの仕組(電話対応 時間、長期休業中出勤日見直し、 生徒持ち物連絡廃止、職員室の 環境整備など)	5	8